「宇宙短歌・俳句コンクール」入賞作品

※賞状授与分のみ掲載

宇宙の歌「短歌部門」

<一般の部> 「宙返り何度もできる無重力」に続く下の句

賞名	作品	入賞者	
向井千秋賞	わが子もグルンお腹の中で	山﨑 彩子	
優秀賞	鞠のごとくにうれひを捨てて	板倉 裕子	
優秀賞	羊水に浮く胎児にも似て	西村 淑	
優秀賞	特大プリン理想の出来栄え	本田 しおん	
入選	星の数ほど夢が広がる	竹田 流星	
入選	孫を六人抱えて嬉し	幅 茂	
入選	越後獅子の唄口ずさむ我れ	安田 清一	
入選	落ちず折れぬが細る我が骨	千田 康治	
入選	宇宙は子宮わたしは胎児	谷岡 美樹	
入選	遠き地球に臍の緒繋ぐ	門屋 朋子	
入選	十億年の胎児の記憶	宮下 嘉納子	
入選	命授かり地表に落つる	竹内 聖治	
入選	壺中の天地茫漠として	太田 辰砂	
入選	君は布団ででんぐり返り	谷井 紀夫	
入選	愛顔もまわる無限の宇宙	菊池 太	
入選	鳥にもなれるまた魚にも	井芝 千章	
入選	母なる青き船と並びて	谷口 みち佳	
入選	昼と夜とを見てまわりゆく	大森 定謨	
入選	超超難度で宇宙を拓く	宇和上 正	
入選	小窓の外は故郷の青	河本 滿	
入選	過去現在未来夢が輝く	薦田 喜加	
入選	五輪選手の背に宙を見る	岩田 早希子	
入選	我が子と一緒に宇宙で遊ぶ	橋田 恭子	
入選	淚流れず顔はため池	本田 いづみ	

<ジュニアの部> 「宙返り何度もできる無重力」に続く下の句

賞名	作品	入賞者		
坊っちゃん賞	僕がまわると宇宙もまわる	清水 琉生		
マドンナ賞	家でやったら二回が限界	阿部 紗也		
優秀賞	体育の授業もここでしたいな	水中 ひなた		
優秀賞	ぞうさんだってはこべちゃう	赤瀬 稔		
優秀賞	とびたいとびばこ目ひょう百だん	二宮由成		
入選	ぐるぐるぐるとギネス記録を	尾﨑 陽		
入選	そしたら私も金メダルかな	宗近 みと		
入選	無限ループで続く永遠	坂井 寛子		
入選	どこまでも続く無限の世界	豊田 彩華		
入選	スタントマンが泣いている	原 綾佑		
入選	うちゅうにいけばりすになるぼく	横道 玄		
入選	ピアノもち上げ記ねんさつえい	藤岡 希帆		
入選	くるくる回るゼログラビティ	立花 譲		
入選	地球を見つけ日本を見つけて	寺坂 透陽		
入選	ふんわりただよう地球とぼくと	宮部 碧大		
入選	静かな宇宙で静かに回る	林 航		
入選	地球でできない思い出つくる	中矢 彩萌		
入選	宇宙の糸がぼくをあやつる	横溝 惺哉		
入選	ぼくのとなりに小惑星	大西 陸斗		
入選	地球と共に私も回る	藤原 楓		
入選	ここはまさにでんぐり宇宙	毛利 航太		
入選	自分の夢を大きくかえる	勇徳 響希		
入選	つぎのほしまでまわりつづける	橋本 和佳		
入選	星から星へジャンプ大会	曽我 周海		
入選	宇宙のひみつ星より多い	林 結唯		

宇宙の句「俳句部門」

<一般の部> 「宇宙」をテーマにした俳句:特選句

選者	作品	7	賞者
福谷俊子	桜散り宇宙にひとつ星生まる	砂山	恵子
	薫風や青き地球の動き出す	篠崎	伶子
	ふたつめの太陽になるしやぼん玉	丸本	美保子
	銀漢や砂丘の涯の日本海	戒能	多喜
有光令子	春満月のぼる大きな旅鞄	原田	マチ子
	オリオン皓と大阿蘇の野焼あと	渦岡	くみ子
髙岡周子	望遠鏡のぞけば素顔春の月	杉山	望
	耕せる青き地球を擽りて	斉藤	浩美
	はるかなる宇宙のリズム潮干狩	山本	好夫
江﨑紀和子	宇宙よりころげ落ちたる天道虫	赤穂	和子
	春星のうるむ竹取物語	森田	千重子
	梟を目覚めさせたる天文図	中川	多聞
木下節子	※鳥引くや古墳に残る天体図	岡本	典子
	冴返る今は滅びし赤き星	山本	ことみ
	たんぽぽや何処かに地球のような星	加藤	真理子
横田青天子	惑星へ旅する話蜜柑むく	武井	日出子
	天地も過去も未来も朧かな	岡田	早苗
	宇宙より賜はるひかり梅ひらく	松田	とよ
	※鳥引くや古墳に残る天体図	岡本	典子
渡邊孤鷲	宇宙への夢を育てて卒業す	忽那	早苗
	御霊星うるみて春の闇深し	原田	和子

※複数の選者が選んだ句

<ジュニアの部> 「宇宙」をテーマにした俳句:特選句

選者	作品	入	賞者
福谷俊子	※初夢やぼくは宇宙で宙がえり	川九	開
	お月さまこんやはだれがかじったの	宮田	晃希
	流れ星ぼくを見ながら流れてく	大塚	劉生
	はやぶさが空に描いた虹一つ	豊田	彩華
有光令子	公園にだあれもいないひでり星	織田	拓海
	ながれ星ばあちゃん長生きしてください	伊勢	小葉
髙岡周子	冬の星まんげきょうの中にいる	中尾	紗唯
	オリオン座たくさんの星とつながるよ	三宅	英暉
	冬の月ずっとわたしの上にある	中矢	乃々華
江﨑紀和子	金せいをたべてみたいなはるのよる	池本	吏来
	※初夢やぼくは宇宙で宙がえり	川九	開
	遠足で行けるといいね空の先	安倍	由花子
	船上から夏の大三角形さがす	伊勢	雅姫
木下節子	はるのゆめ月でとびばこ三百だん	池本	吏来
	同じ空ガリレオ見ていたおぼろ月	鳥生	野乃花
横田青天子	紅葉の地球の色は赤いかな	真鍋	ななか
	夏の朝月の形がのこってる	藤涛	拓郎
	闇を切る素振り見守る冬銀河	野中	大治
	宇宙ゴミ春一番でとんでいけ	清水	煌生
渡邊孤鷲	春のリレー土星の環をひと回り	曽我	周海
	たんぽぽのわたげとび立つうちゅうへと	安倍	由花子

※複数の選者が選んだ句